

## 【I ペテロの手紙4章】

「万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために～何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。」(4:7, 8)

ペテロは、信仰を持ったのに、痛みや苦しみの余り元の生活に帰ろうとしている人の為、あるいは祈りを諦め惑わされている人の為に、神の真理に忠実であるようにと励ますためにこの書を書いています。

ペテロ自身、信仰ゆえに何度も脅かされ鞭打たれ投獄されました。また仲間も迫害を受けているのを見てきましたが、その信仰は弱まることなく、強い主への信頼を与えられていました。ただ一つの救いの道 それはイエス・キリストのアガペーの愛の道、人間を喜ばせる事ではなく、神を愛し神を喜ばせる道を選ぶように勧められています。

これが書かれた時から、ほぼ1950年経っていますが、その当時迫害を受けていた聖徒は、今か今かと世の終わり…神の視点からすると、1日は1000年のごとく(Ⅱペテロ3:8)…が近づいているという緊迫感がありました。今、まさに世の終わりに近づいてきています。シリア内戦(化学兵器破棄について各国の反応)ケニアのショッピングモール襲撃事件・ローマ法王の発言等、、この中で一番大切な事は**祈ること**。その為に心を整え、身を慎むことだと言っています。また「不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。」ですから、何よりもまず互いに熱心に**愛し合うことが勧められています**。愛は多くの罪をおおうからです。

圧倒的な視聴率を誇る銀行員のテレビドラマがあります。不当ないじめを受けたら、仕返しをしたいと考え、正義としてそれが行われるのは心のすくような快感を覚えるものです。この様な心理を巧くつき、「何倍返し」といって流行語にもなっています。どんなに多くの方が、この「恨みと怒り」の罪に悩んでいる事でしょう。高じると犯罪へと駆り立てられるものです。しかし、イエス様は私達の罪を負って死んでくださいました。もしイエス様が倍返しだと言われたら、人間はひとたまりもなく、裁かれ、生きていくことなどできません。それくらいの罪を人間はしているのです。イエス様は、それどころか、そんな罪人の為に「彼等を赦したまえ」ととりなしておられます。マタイ18章においても「七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。」とされています。まさに愛の70倍返しです。「あわれみと赦しとは、私たちの神、主のものです。」(ダニエル9:9) このような赦しとあわれみを受けたのですから、私達も罪に対して愛で返しなさいと言われているのです。罪がはびこるところに愛も増してき、裁きを受けて当然な者に、今は恵みの時救いの日であるから、主のもとに帰ってきなさいとその手を差し伸べられています。(Ⅰヨハネ4章)

最終的にこの世は裁かれてきます。それは、「きよめ」のためであり、新しい天と地にふさわしくされる為です。肉体に苦しみがあるというのは本当に辛いことです。しかし、それによって、罪とのかかわりを断ち切っているのです。神様は、きよめの為に一人一人にふさわしい備えを成しておられます。神様の遠大なご計画ゆえになおなお信頼し、感謝と賛美を捧げて聖霊の風のひびきを聞いてゆきましょう！

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.9.29 No.756

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。  
地よ。聞け。私の口のことばを。  
私のおしえは、雨のように下り、  
私のことばは、露のようにしたたる。  
若草の上の小雨のように。  
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

**栄光を私たちの神に帰せよ。**

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。

主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



ニュージーランド マウントイーデンから神の言葉が置かれています。

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>